

2024年度 財務専門官試験 採用までの流れ

1次試験(受験地任意) | 5月26日(日)



1次試験合格発表 | 6月18日(火)

▼……業務説明会

2次試験(受験地任意) | 7月1日(月)~4日(木)

▼……職場訪問(採用希望局)

最終合格発表 | 8月13日(火)



採用面接(採用希望局)



財務省大臣官房地方課試験係 TEL.03-3581-4111(内線2775)



@zaimukyoku



@MOF_LFB_recruit



mof_LFB_recruit



詳しくは、財務局採用HPへ

財務専門官



財務専門官

採用案内



つなごう。
国と地域を。
あなたと未来を。

TALK SESSION

つながりのある仕事。

国と地域の財政をつなぐのが、財務専門官の仕事。

各財務局出身の若手職員が集まって話したら、

色々な「つながり」が見えてきました。

東北財務局採用
(出身地:岩手県)
熊谷 将俊

つながりって、
「安心感」。

近畿財務局採用
(出身地:兵庫県)
田中 玲奈

つながりって、
「仲間」。

中国財務局採用
(出身地:岡山県)
玉光 亜衣梨

つながりって、
「信頼関係」。

福岡財務支局採用
(出身地:長崎県)
川本 将平

つながりって、
「組織を超えた連携」。

THEME 01 なぜ、財務専門官を選んだのか。

熊谷 私は大学時代から金融や証券に関心があり、「金融商品のつくり手は、本当に顧客利益を考えているのか」ということに問題意識を持っていました。民間企業も視野に入れて就職活動をしていましたが、社会のあるべき姿に向かって注力できるところが公務員の良さだと感じました。その中でも財務専門官には、興味があった証券監督という部門があることを知り、第一志望になっていきました。

川本 私は経済に関わる仕事で地元貢献したいと思っていて、財務専門官は経済や金融など専門的な仕事に携わることができる点に魅力を感じました。さらに財務局に職場訪問した際、職員の人柄や雰囲気の良さを感じたことが決め手になりました。

田中 説明会でお会いする職員の方の明るさは印象的でしたね。若手職員の皆さんが楽しそうに仕事の話がされていて、一緒に働いてみたいと感じました。働くほど財政・金融という専門的な知識が積み重なり、社会や地域に貢献できる度合いが上がっていくことも魅力的だなと思いました。

玉光 私は大学で学んだことを活かして、地域活性化に携わりたいと思っていました。最初は地方公務員を考えていたのですが、参加した説明会で、財務局なら地域貢献しながら国の仕事にも携われるということを知って、財務局カッコいいなと思って。また、そのときに業務の説明などをしてくださった職員の方々が、

私が公務員に抱いていたイメージをくつがえしてくれたんです。

熊谷 分かります！皆さん話しやすくってフランクですよ。私は正直、公務員って固い人が多いのではと思っていましたが全く違いました。いい意味でギャップがありましたね。

THEME 02 こんな業務を経験してきた。

玉光 私は主に予算執行調査を担当しました。各省庁の事業などに予算の無駄や非効率な使われ方がないかなどを調査する業務です。自分で現地調査先を決め、事業の執行状況の確認を行い、予算の見直しや効率化に繋がられるものについては本省へ報告し、国の予算編成に貢献します。とてもやりがいのある仕事でした。

川本 私は経済調査業務を担当しました。企業へのヒアリングや経済指標の分析を通して地域の経済情勢をとりまとめ、最終的には財務局長から本省へ報告します。私自身がとりまとめた内容が新聞に掲載されたときは嬉しかったですね。企業へのヒアリングは、採用1年目であっても1人で担当するため、相手企業や業界のことは事前に一生懸命勉強しました。1人の財務省職員として、地元企業の取締役や専務などとお話するため、緊張感や責任感を伴いますが、同時に大きなやりがいも感じることができる仕事です。

田中 知らないことが多いと、話すのにも苦労しますよね。私は国有地の管理・処分業務を

していたのですが、不動産に関しては、上司や先輩方にノウハウを教えていただいたり、関係資料を読んだりして勉強しました。また、作業着を着て山奥へ現地調査に行くこともあり、最初は驚きましたが、今では上司と二人三脚で対応した楽しい仕事の思い出です。

熊谷 私の場合は、金融、財政、国有財産と、割と幅広い業務を経験してきました。採用1・2年目はノンバンクといわれる貸金業者や商品券発行者の金融監督をしました。その後は、地方公共団体への融資業務や財務状況のモニタリング、国有財産の有効活用に向けた売却や入札業務、土地の境界確定や所管確認などを担当してきました。



国有地の現地調査

THEME 03 忘れられない、あの仕事の話。

玉光 採用1年目のとき、各省庁の予算見直しに関して、保育園のICT予算について提案しました。地域の保育士の皆さんから話を聞くと、導入されてもICTはあまり使われていないという実態が見えたので、ほかの職員とも検討を重ねて内容を練り上げ、本省の予算執行調査提案につなげることができました。若手でも自分の考えを提案できる、大きな達成感のある仕事でした。

熊谷 私は2019年のG20に関わったことです。金融庁へ一時出向して、国際会議開催の調整や当日の現場対応などを含め、ロジ関連業務を担当しました。地方採用ながらグローバルな業務に携わられたことは嬉しかったのですが、実務は大変でした。英語の電話、メールに対応しきれず焦ったことも。ただそのときの仕事の進め方やスピード感は、地方に戻ってから強みになったと思います。

川本 本当にそのとおりですよ。私もG20

福岡の際は各国の財務大臣と中央銀行総裁が来日される、その現場でアテンドをしていました。福岡空港内において一般利用者とは違う最短ルートでご案内しなくてはならないため緊張感が高いうえ、トラブルに対しても臨機応変な対応が求められました。人手が足りず通訳担当がいなかったときは、必死のボディランゲージで乗り切りました。

田中 私はおふたりのような壮大な経験はないのですが(笑)、自分が担当した国有地の売却契約で1億円を超える案件があったことが記憶に残っています。ついこの間まで大学生だったのにそんな大きな金額の案件を担当することになるとは…。契約書のゼロの多さに震えました。



G20福岡 財務大臣・中央銀行総裁会議

THEME 04 課題解決に向けた、地域とのつながり。

川本 坂や階段が多い長崎県は建物や土地の維持管理が難しく、人口流出や高齢化も重なり、所有者や相続人が見つからない斜面にある空き家・空き地が増えています。そのような空き地などは、国庫に帰属して「未利用財産」として国が管理することになりますが、それらを地域活性化のために活用できないかと、市の職員やNPO法人の方々と意見交換会を行いました。たとえば公園など地域の人々の癒しの場になるようなものや、子ども食堂など社会課題解決になるような場所にできればいいですね。

熊谷 東北も同じで、地方公共団体に話を聞くと、皆さん人口が減っていることに悩んでいて、なんとかして都会から地元に戻ってきてもらうことや、定住を促進する施策を考えているんです。様々な関係機関と連携している財務局は、他の地域で成功している事例などの情報が集まりやすいことが強みだと思います。その情報を的確に伝えたり、アイデアを出していったりすることがこれからも求められると思います。

田中 近畿地方も同じ課題はありますが、いま直面しているのは、2025年大阪・関西万博の開催に向けて、関西地域全体を盛り上げていくこと。その取り組みのひとつとしてNEXCO西日本などと協働し、各SA・PAのテナント事業者と管内金融機関の取引先をマッチングさせるための商談会を実施しました。財務局は財政・金融を通じて地方公共団体・民間企業・金融機関と関わっているので、各方面を巻き込んでいく「つなぎ役」を期待されていると思います。

玉光 「つなぎ役」に関しては、私も同感です。中国地方も高齢化や過疎化は深刻です。私たちの仕事は、現場の生の声を聞くことができます。その声を地方公共団体や金融機関に伝え、一緒に考えて、地域の課題解決をめざしていける。若手であってもその中心となって活躍できると思います。だから私は「質問力」も大切だと考えていて、自分が本当に聞きたいことを聞けること、問題の本質をつかめるコミュニケーション力が必要だと思っています。



2025年大阪・関西万博関連イベント

THEME 05 働く上での「つながり」ってなんだろう。

熊谷 「安心感」でしょうか。財務局は「なんでもみんなで議論しよう」という空気があって、「それ面白いね」という視点で仕事ができます。紋切り型にならずに、求められているゴールに向かって色々なアプローチを考えられる、だから若手でも安心して自分の意見を言うことができます。安心して働ける環境が、次の仕事にもつながっていくと思います。

玉光 私は「信頼関係」だと思います。これまでの部署に異動しても、職員同士が声をかけたり誘い合ったりするつながりを感じてきました。BBQやお花見など仕事外のイベントも自然と集まるが多かったですね。そういうコミュニケーションが働く上での信頼になっていると思います。

川本 組織の垣根を超えて知識を共有する「連携」が、私が連想するつながりのイメージです。地域の課題解決に向けて取り組む財務局は連携がしやすい環境だと思います。

田中 「仲間」ですね。職員同士の仲が良く、私は毎日お昼ご飯を同期と一緒に食べているんですよ。世代に限らず仲が良いことは働きやすさにもつながります。財務局で働いているからこそ「地域貢献」という同じ目的を持つ仲間が増えたと感じています。



先輩や同期との「つながり」

THEME 06 財務局で働き続けられる理由。

熊谷 働き続けるためには勉強し続けることが大切ですが、財務局は研修が充実しています。私は会計研修に参加して、約3ヶ月間にわたり国の予算や決算に関わる会計業務について学びました。職員に対して、これだけのリソースを割いてくれるというのはありがたいですね。国内留学として大学院に通っている先輩もいらっしゃいます。

田中 各地方での内部研修も充実していますよね。近畿財務局では、係長級以上の職員が講師となり、若手職員を対象とした研修会を開催していましたが、業務上の小さな悩みを相談できる機会でもありました。そのほか、異動して初めての業務を担当する職員への研修もあり、とても手厚いと思います。

玉光 中国財務局も先輩職員が講師になるオンラインの若手勉強会があります。定期的に関内の若手職員とコミュニケーションが取れるため、精神的なつながりも実感できます。また、働きやすさについても安心です。

たとえば、女性のキャリアでいいますと出産を経た職員はほぼ職場復帰しています。妊娠がわかった時点で職場復帰までのプランをしっかり話し合いますし、育児休業も取得しやすい環境で、サポート体制が整っています。

川本 私も1ヶ月育児休業を取得しましたよ。もっと長い期間の育児休業を取られた先輩もいましたね。業務をどのように引き継いでいかなど、部署の業務全体を見ながら上司と一緒に計画を立てるんです。休むことにプレッシャーもなく、職場復帰もしやすかったです。長く働くことができる体制は整っていると思います。

地域を一緒に盛り上げよう！ //

